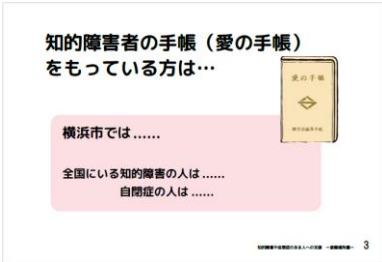
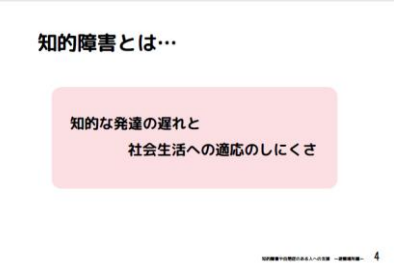


出前講座シナリオ 「知的障害や自閉症のある人への支援 -避難場所編-」 2025 年 8 月改訂

■当日用意するもの	*研修中に使用するもの	① 紙芝居パネル 31枚 ② 黄色と緑のバンダナ（身に着ける） その他、黄色のリストバンドなど、バンダナに変わるものがあれば身に着ける。 ③ メジャー 「車いすが通れる幅、90センチ以上…」を、参加者に示せるように準備。 メジャーでなくとも、90センチの長さがわかるものがあればよい。 ④ 疑似体験用インドネシア語の音声データと再生機器 ⑤ 文字盤 50音や定型句などを紙に書いておいたもので、文字を指し示し、言葉を伝える。 インターネットで検索すると様々な種類の文字盤が出てくる。 ⑥ コミュニケーションカード セイフティーネットプロジェクト横浜のホームページの『コミュニケーションカードの作成システム』を利用して、必要なカードを作成。
	*配布物	①講座の次第 ②災害用コミュニケーションボード趣意書 ③「わたしたちのこと知ってください 応援してください」（避難場所のみなさんへ編） ④災害用コミュニケーションボード ⑤「障害のある人への配慮」※救急隊用のチラシからの抜粋

	* 講座後、必要に応じて紹介できる資料 ①障害団体が持ち込む紹介パンフ等 ②地域ぐるみで災害対策 災害時要援護者支援ガイド（横浜市作成） ③自閉症の人たちのための防災ハンドブック（日本自閉症協会作成） ④その他
■当日の配慮	* 説明する人は緑と黄色のバンダナ着用 * 障害のある人達と地域の方をつなぐことが目的の講座です。障害のあるご本人と一緒にできるような工夫をしてください。

構成	パネル	シナリオ
1、自己紹介	NO. 1 	みなさんこんにちは。本日は、お時間をいただき有難うございます。 今日は、自閉症や知的障害の人のことを理解して頂き、災害時、避難場所で、どのように支援してもらいたいかを伝えるために伺いました。このような機会を通じて、知り合いを増やしたいと思っています。 〇〇会の〇〇と、〇〇作業所の〇〇です。どうぞよろしくお願いします。
2、講座の目的	2 	さて、災害時のことは皆さん、とても心配していると思います。障害のある人も、避難場所で皆さんと一緒に過ごせるか、大きな不安をもっています。 ※講演者が心配なことを具体的に補足して説明
3、「知的障害」や「自閉症」 聴覚障害 のある人への支援 3-1、手帳	3 	さて、横浜では（現在の人数）人が「知的障害者の手帳」をもっています。 手帳をおもちでない人達を含めると、知的障害の人は全国に（現在の人数）人、広い意味での自閉症の人は（現在の人数）人位いらっしゃると言われています。 自分のことを障害があると思っていない人もいます。 ※網掛けの現在の人数は講演者が調べて説明
3-2、 知的障害とは	4 	「知的障害のある人」は、知的な遅れと社会生活への適応のしにくさがあります。

(3 - 3 知的障害とは)	5	言葉を理解したり使うことが苦手な人もいますが・・・ 絵や記号、写真等を使えば意味を理解できる人やコミュニケーションをとれる人もいます  5	また、言葉を理解したり、使うことが苦手な人も多くいます。自閉症の人の中にも同様のことがあります。どのくらい苦手かは個人差があります。 このように、言葉の理解が苦手でも、それを補う方法もあります。たとえば、絵や記号、写真等を使えば意味を理解できる人やコミュニケーションをとれる人もいます。
(3-4 コミュニケーションボードとは)	6	コミュニケーションボードとは  絵や記号、写真等を使って、言葉でのコミュニケーションの難しさを補うもの 6	「コミュニケーションボード」は、そうした人に使っていただくために作りました。目の悪い人にとってのメガネのようなものです。 絵や記号、写真等を使って、言葉でのコミュニケーションの難しさを補うものです。
(3-5 セイフティーネットプロジェクト横浜)	7	「コミュニケーションボード」は「セイフティーネットプロジェクト横浜」が作成しました 障害のある人や家族、支援者などでつくった団体です (趣意書参照)  7	コミュニケーションボードとチラシは、「セイフティーネットプロジェクト横浜」という団体が作りました。 障害のある人や家族、支援者などで作った団体です。資料の中に「趣意書」があるので、あとでご覧ください。
(3-7 様々なところで使われ始めたコミュニケーションボード)	8	「コミュニケーションボード」とは コミュニケーションボードは、学校や交通機関、お店、交番などで使われ始めています  8	コミュニケーションボードは、学校や交通機関、お店、交番などで使われ始めています。外国の人やご高齢の人等も利用されることがあるそうです。

疑似体験 ＊言葉でのコミュニケーションが難しいということ	9	「言葉によるコミュニケーションの難しさ」とは？ 【体験してみましょう】 ・言葉のわからない外国を旅行中 ・大きな地震が発生し、たどり着いた避難場所で…  知覚障害や言語障害のある人への支援 一歩実践編 9	さて、知的障害の人の「言葉によるコミュニケーションの難しさ」とは、どういうことでしょうか。 言葉のわからない外国に行った時のことが例えられるので、ここで少しだけ体験してみましょう。 参加者のどなたかお1人、前に出てきてください。 ※お1人、前に出てきていただく。 「外国を旅行していて、大きな地震が発生しました。ホテルの人の誘導で、あなたはなんとか避難場所にたどり着きました。そこにこんな放送が流れました。」
(4-2 外国の避難場所で)	10	外国の避難場所で…  知覚障害や言語障害のある人への支援 一歩実践編 10	※カセットテープに録音したアナウンスが2回流れる。 Dari Sekarang ,air minum dan roti akan dibagikan . Diharap keluar darigedung dan ditunggu 周りの人たちはいきなり立ち上がり、外に行ってしまいました。 ※インドネシア語（単語）で講演者が参加者へ話しかける。 「のむ：minum（ミヌン）」 「たべる：Makan（マカン）」 「移動する：Pindah（ピンダッ）」・・・と言ってみる。 どうですか？言葉が理解できない状況では、何をどうすればよいのかわからずに不安になりますよね？
(4-3 コミュニケーションボードを使ってみる 「水」 「食べ物」 「移動する」)	11	コミュニケーションボードのイラスト  知覚障害や言語障害のある人への支援 一歩実践編 11	ここで、コミュニケーションボードを使ってみます。 ※コミュニケーションボードの「のむ」、「たべる」「移動する」を指さす。 ※ジェスチャーもする。 いかがでしょうか、何を伝えようとしたかわかりますか？ ※前に出ていた参加者へ質問し、答えていただく。

(4-4 放送 内容の こたえ)	12	放送の内容  「これから 水と食べ物を配ります 体育館を出てお待ちください」 知的障害や自閉症のある人への支援 ー避難所編ー 12	さて、今流したテープはインドネシア語です。 内容は、「これから、水と食べ物を配ります。体育館を出てお待ちください。」でした。 少し極端な場面を経験していただきました。 言葉以外の手がかりがあることで、コミュニケーションがとりやすいことを少し感じていただけたと思います。
5 災害が起きた 時に お願いしたい こと	13	災害がおきたときに お願いしたいこと  知的障害や自閉症のある人への支援 ー避難所編ー 13	それでは、知的障害や自閉症を中心に、障害の特徴や避難場所で支援いただきたいことを改めて紹介させていただきます。
(1) 何か困って いるみたい (5-1 黄色 と緑のバンダ ナ)	14	黄色と緑のバンダナ 黄色：配慮が必要な人 緑色：支援ができる人  知的障害や自閉症のある人への支援 ー避難所編ー 14	私達は障害があって「配慮が必要な人」は黄色を、「支援ができる人」は緑のものを身につけることを提案しています。イラストでは、黄色のバンダナを身につけています。また、黄色のリストバンドなどをつけている人もいるかもしれません。 ※講演者はコミュニケーションボードの現物を見せながら このコミュニケーションボードやバンダナは地域防災拠点にサンプルを置いてあります。

(5 - 2 キ ヨロキヨ ロ・・・ ↓声をかけてく ださい)	15	キヨロキヨロしたり、 困っているような人がいたら… ○声をかけてください ○具体的にゆっくりと 伝わっているか確かめながら 訊ねてください  認知障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩実践編 15	また、避難場所でキヨロキヨロしたり、困っているような人がいたら・・・ まず声をかけてください。 具体的にゆっくり話してください。伝わっているか確かめながら何に困っているのか 訊ねてください。
(5-3 ↓ コミュニケーション ボードを使っ てみてく ださい)	16	キヨロキヨロしたり、 困っているような人がいたら… ○コミュニケーションボードも 使ってください  認知障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩実践編 16	言葉のやりとりでは、うまく伝わらない場合は、先ほどやってみたように、コミュニ ケーションボードも使ってください。絵を指さしてやりとりしてみてください。
具体的なコミュ ニ ケーションボー ドの使い方 (5-4 迷子かな？)	17	迷子かな？  認知障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩実践編 17	たとえば a避難場所で黄色いバンダナをつけて、キヨロキヨロしながら、さまよっている人がい ます。その人は黄色のバンダナをつけています。どうも家族とはぐれて迷子になって しまったようです。

(5-5シーン ① 迷子かな？ ↓ オウム返し)	18	ここで待っていてね ココデ マッテイテネ 知的障害や自閉症のある人への支援 一歩踏み出す 18	b 「ここで待っていてね。」(静かな声で：緑のバンダナを付けた人) と言うと c 「ココデマッテイテネ」(黄色のバンダナの人) とオウム返しの答えが返ってきました。よくわからずに聞いた言葉を繰り返しているようです。
(5-6シーン 1② 迷子かな？ ↓ CBを使ってみて 「待つ」	19	コミュニケーションボードも使ってみてください 待つ Wait 知的障害や自閉症のある人への支援 一歩踏み出す 19	こんなときに、コミュニケーションボードも使ってみてください。 ※CBを使って講演者が実演またはイラストで説明する。 e 「待つ」(ボードを指さして：緑のバンダナを付けた人) といったように使います。
(5-7シーン 2① 迷子かな？ ↓ CBを使ってみてもだ め(どこかに行こうと する)	20	抽象的な言葉は理解できないことがあります ここで待っていてね ココデ マッテイテネ 知的障害や自閉症のある人への支援 一歩踏み出す 20	ところが、コミュニケーションボードで「待つ」を指さしても、どんどん行ってしま うことがあるかもしれません。 コミュニケーションボードでうまく伝わらない場合もあります。 知的障害のある方全員が、このコミュニケーションボードでやり取りできるわけでは ありません。 そんな時は、具体的な言葉やジェスチャーで表現してみると伝わるかもしれません。 また、「ここで待っていてね」といった抽象的な言葉は理解できないことがあります。

(5-9シーン 2② 迷子かな？ ↓ 具体的な行動を 伝えてみて (シートで待 つ)	21	具体的に伝えてください  このシートの上に いてください 知的障害や自閉症のある人への支援 一歩難関突破 21	(※指さしながら)「このレジャーシートに座っていて下さい」と言って、場所を具体的に決めて指さすといった方法で伝えてみてください。 一度ではうまくいかないかもしれません。その人のわかる方法を探していただけると幸いです。
(5-10 *大切な情報を 伝え る時 ↓いろいろな方 法で)	22	大切な情報は、言葉・文字・絵など いろいろな方法で伝えてください ・ご自分用のカードを持っている人もいます  ・手話や筆談、文字盤を使う人もいます  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩難関突破 22	ご自分用のカードを持っている人もいます。 セイフティーネットプロジェクト横浜では、一人ひとりに合わせたボードやカードを作成できるシステムを開発し、ホームページで紹介しています。 障害によっては手話、筆談、このような文字盤を使う人もいます。 表示が見えない人や音が聞こえない人、文字やことばがわからない人もいます。 大切な情報は、文字と絵、ことばの3つの方法で伝えてください。模造紙やホワイトボードがあると便利です。
(5-11 (2) 並ぶことや 待つことが苦手 な人がいます	23	並ぶことや待つことが 苦手な人がいたら… 並んで待つことが難しい人もいます  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩難関突破 23	また、並ぶことや待つことが苦手な人がいます。状況の理解ができない時です。 避難場所のトイレなど、皆が並んで順番を待っているのに、突然横入りする人もいるかもしれません。知的障害等がある人の中には、並んで待つことが難しい人もいます。

(5-12 24 ↓ 具体的な行動で 示してください)	24	並ぶことや待つことが 苦手な人がいたら… ○列の後ろへ案内して 「ここに並んでください」と伝えるなど 具体的な行動を示してください  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩の支援 24	そんな時には、列の後ろへ案内して「ここに並んでください」と伝えるなど、具体的な行動を示してください。 しかし、それでも混乱している場合は、順番を譲っていただければと思います。
(5-13 (3) 気になる 行動をしている けど	25	気になる行動をしている人がいたら… 刺激に対する過敏さ → 強い不安 ・人混み ・まぶしい光 ・大きな声や音 ・その他  ・大きな声 ・手を打ち続ける ・自分を叩く…など  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩の支援 25	知的障害や自閉症等の人は、人ごみや大きな声や音、まぶしい光で神経を強く刺激され、不安を強くすることがあります。 また、大きな声をだしたり、手をパチパチ打ち続けたり、ピョンピョン跳ねたり、自分の頭を叩く…といった少し不思議な行動で気持ちを安定させようとする場合があります。
(5-14 ↓ 見守り、静かな 場所へ移動	26	気になる行動をしている人がいたら… ○しばらくは静かに見守ってください ○静かな場所へ移動して 落ち着くまで見守ってください  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩の支援 26	今言ったような気になる行動をしている人がいたら、危険がなければ、しばらく静かに見守ってください。 また、混乱が大きいときには、静かな場所へ移動させていただいて、落ち着くまで見守っていただければと思います。

(5-15) ↓ 大声での静止、 身体に触れない で	27	大声で叱ったり 身体に触って静止するのは逆効果です × 大声で叱る × 突然 × 身体に触る  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩の成長 27	「静かにしなさい」「やめなさい」「ダメ」と大きな声で叱ったり、身体に触って制止するのは、不安感を強くしてしまうので、逆効果です。
(5-16) (3) 通路を確保 してく ださい	28	通路を確保してください 通路が狭かったり 段差があると 身動きがとれないことも あります  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩の成長 28	また、杖で移動される視覚障害の人や車いすの人は、通路が狭かったり、段差があると、身動きがとれないこともあります。
5-17、 ↓ 通路を確保して ください 幅、通路に物を 置かない	29	通路を確保してください ○車イスが通れる幅 (90cm) 以上 ○通路にはものを置かないでください  知的障害や自閉症のある人への支援 一歩一歩の成長 29	避難場所の通路は、車イスが通れる幅、90cm以上（メジャーで90センチを示してみる。）を確保いただき、通路にはものを置かない等、開設の時点で配慮いただければより安心です。 ※「障害のある人への配慮」等、参加者に配布した資料がある場合には以下も説明 なお、知的障害だけではなく、精神障害など様々な障害のある人の特徴を掲載した資料を配布させていただいています。後で、お読み頂ければと思います。

(5-18 一人ひとり配慮 の必 要なことは違 う)	30	必要な配慮は おひとりおひとり違います  30	本日お話ししたのはほんの一例です。 障害のある人といってもお一人お一人が違います。いろいろな障害のことについても っと具体的に知りたい方は、終わったらお声がけください。 わかりやすいパンフレットもありますので、資料のご紹介をいたします。 ※わかりやすいパンフレット等の例 横浜市作成「地域ぐるみで災害対策 災害時要援護者支援ガイド」
7、終了の挨拶	31	 - おわり - 31	お話を聞いてくださってありがとうございます。 これにて、終了いたします。